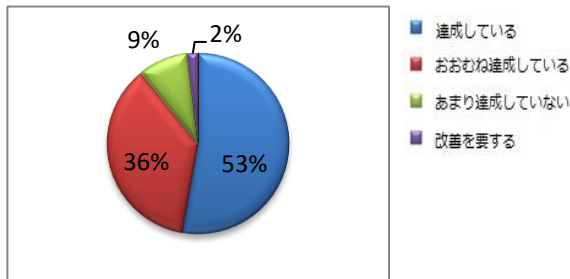


令和3年度 学校自己評価 保護者アンケート まとめ

地域の皆様、保護者の皆様には、日頃より本校の教育活動にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。また、保護者の皆様には学校評価アンケートにご協力いただきましてありがとうございました。

1 学校満足度

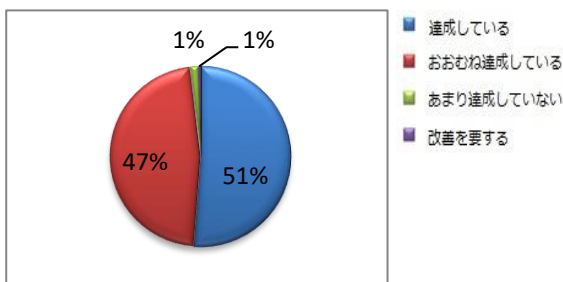
①子どもさんは喜んで登校していますか。



【考察】

昨年度に比べ「達成」割合がへり、「おおむね達成」の割合が増えています。多くの児童が学校で学ぶことの楽しさや尊さを感じているものの、1/2程度の児童はどこか物足りなさを感じているようです。また、約1割の保護者の方からは、好評価がいただけていませんが、各学級担任が気にかけている児童の数とも合致しています。よりきめ細かい指導を心がけてまいります。

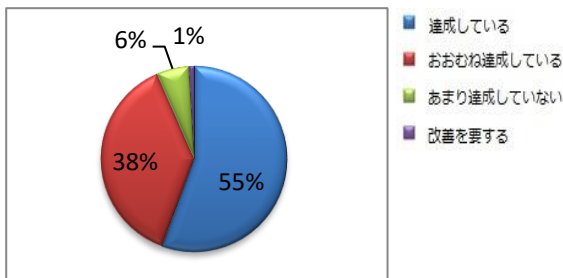
②授業はわかりやすく進められていますか。



【考察】

①の設問同様、「達成」が減り、「おおむね達成」が増えています。1人1台端末が導入され、今まで以上に個別最適な学びが期待されますが児童によってスキルに差があり、十分な効果が現れていない児童がいるかも知れません。ICT機器の効果的な活用により、UD化の視点を生かした授業改善をいっそう進めていく必要があると考えています。

③学級担任、学校職員は、相談しやすいですか。

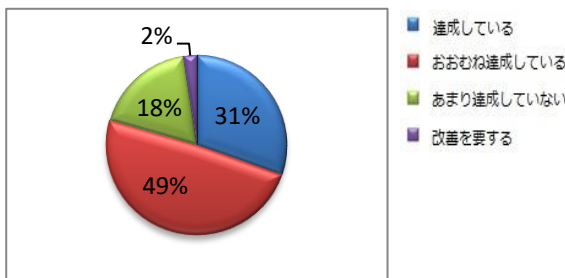


【考察】

今年も、参観日などで実際に顔を合わせる機会が少なかったのですが、昨年度同様に9割を超える保護者の方に好評価をいただいております。学校に信頼を寄せてくださっていること、たいへんありがたく思っています。今後も、保護者の皆様との連携を密にするとともに、学級、学年、学校だよりの発行、ホームページの更新等で、信頼される学校づくりに努めてまいります。

2 学習

◎子どもさんは意欲的に家庭学習に取り組んでいますか。

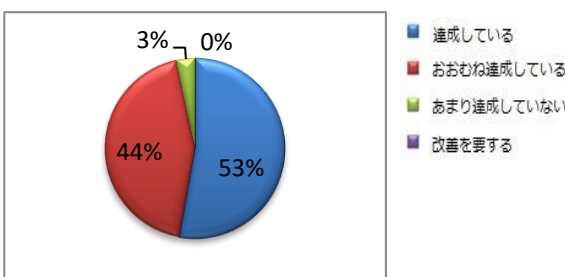


【考察】

昨年度と同様の評価をいただきました。家庭学習については、ほぼ満足の保護者の方が多いようです。実際の提出物からも、丁寧に家庭学習に取り組んでいる様子が見えます。反面、児童の中には夜遅くまでゲームに興じているという話もあり、学校で宿題を片付けている児童もいます。本年度ネットリテラシーの研修会を開催しましたが、今後も保護者の皆様と連携してこの問題に取り組んでいきます。

3 自尊心

◎お家では、お子さんのがんばりをほめたり、励ましたりする場がありますか。

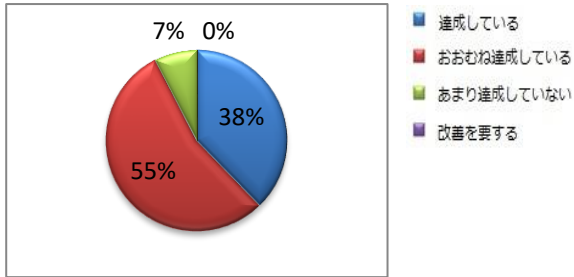


【考察】

「達成」「おおむね達成」の割合が昨年度を上回っています。9割を超える保護者の皆さんが、お子様の頑張りを認め、励ましてくださっています。児童アンケートの結果からも自尊心を持った児童が多いことがうかがえ、学校生活の中で見せる児童の素直で前向きな姿は、ご家族、地域の皆様のこの支えがあればこそだと思います。

4 心と体

◎学校では、子どもたちが学習や運動に粘り強く取り組めるような支援がなされていると感じますか。



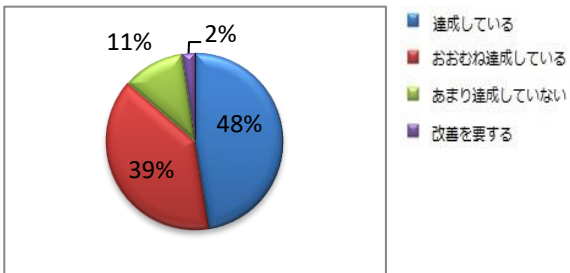
【考察】

昨年度との比較では若干ですが「達成」「概ね達成」が上回っています。運動会や音楽会など、種目、曲目等の制約があった分、集中して粘り強く取り組むことができ、子どもたちにも成就感、達成感が残ったようです。

今後も、目標を持ち、粘り強く取り組める活動を計画していきたいと思えます。

5 地域との連携

◎子どもさんの成長に、地域の人々のかかわりを実感していますか。



【考察】

昨年度との比較では「達成」の割合が8ポイント減少しています。地域の方との関わりは、特に2学期、感染警戒レベルの高い期間、とても少なく、保護者の方も地域の方も歯がゆい思いをされたのではないのでしょうか。

状況収束の際は本校でも大切にしている「ふるさと体験学習」を中心に、児童が主体的に地域の方を求めていく活動を計画していきたいと思えます。

5 保護者の皆様からいただいたご意見

※数値評価とともに、たくさんのご意見を記述していただきました。ありがとうございます。
いただいたご意見のうち、多く寄せられたものについてまとめました。

1 学習について

- ・個人のペースに合った勉強の仕方を教えていただきうれしいです。成長を感じます。これからも個性を大切に進めてほしいです。
- ・知識も大事ですが体験できる体得することを増やしてほしいです。
- ・自分の考えや気持ちを言葉にして伝える力が育つような活動が増えるといいです。

2 学校行事・学年行事

- ・いろいろな制約がある中ですが運動会や音楽会などクラスで団結できる活動を工夫して実施してください子供の自信につながっているなど感じています。

3 地域との交流 ふるさと体験学習

- ・まだコロナの影響が心配ですが、人との関わりを持てるような活動が増えたらいいなと思えます。さくら国際高校の生徒さん達や、中学校の体験学習の生徒さんとの時間がとても楽しかったようです。
- ・地域の方々との交流や自然に触れる活動は子供たちも生き生きしているように思えるので続けていただきたいです。

4 挨拶について

- ・登下校の際に、誰に対しても挨拶ができる子が多くとてもいいと思えます。
- ・横断歩道を渡り終わった時に、振り返り止まっている車にお辞儀する姿はとても気持ちがいいです。
- ・中学生はみんなとても良い挨拶をしてくれますが、小学生はあまりできないので中学生にならって元気よくできるといいなと思えます。

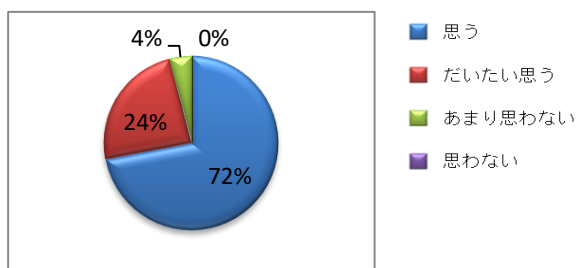
5 日頃の子どもの様子について

- ・素直で良い子が多いと感じます。いろいろ楽しみながら頑張っている姿が良いと思えます。
- ・自分が打ち込めることやものを自分で見つけられているのはとても良いです。

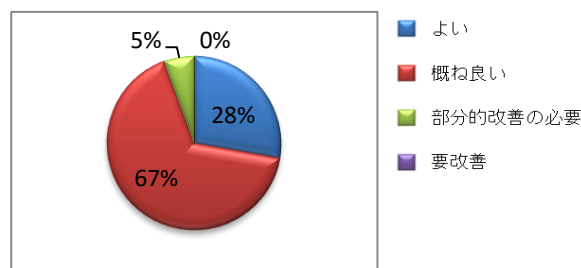
R03 学校自己評価 中間報告(2学期・全校児童・職員)

1 学校満足度

(1) 学校は楽しいですか。(児童)



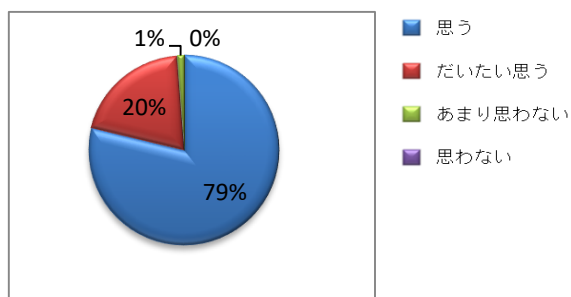
(1) 子どもたちが楽しく学校生活が送れるよう様々な面で配慮をしていますか。(職員)



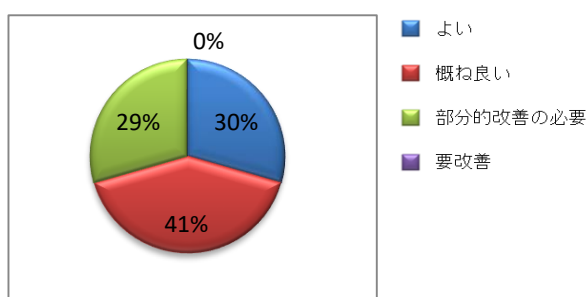
【考察】

児童の結果は、1学期に比べ、「思う」が3ポイント上昇した。また、「思わない」の回答が1ポイント減少して0になった。引き続き、どの子にとっても居場所があり、楽しい学校をつくっていききたい。

(2) 先生は勉強を分かりやすく教えてくださいますか。(児童)



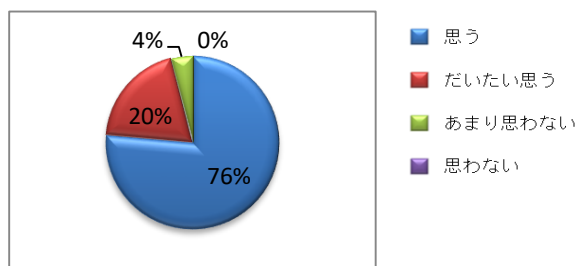
(2) めあてをはっきりと提示し、友だち同士の関わり合いを工夫し、まとめの時間をとる努力をしていますか。(職員)



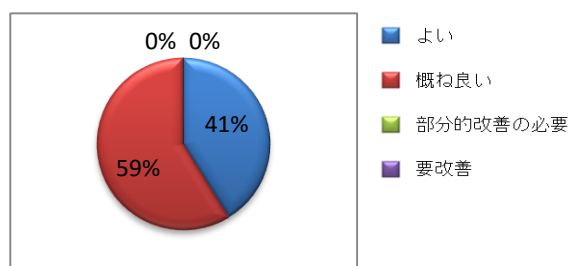
【考察】

児童の結果は、1学期に比べ、「思う」が7ポイント上昇し、「あまり思わない」が3ポイント減少した。職員の結果からも、UD化によるねらいのはっきりした授業、コロナ禍の中でできる形を模索した協同的な学習、さらに、1人1台のICT機器の活用などが結果の上昇に結び付いたと考えられる。また、全国学力調査やその他の学力テスト等の結果を見ても、各学年とも正答率の伸びがみられる。

(3) 先生は、困った時に相談に乗ってくれますか。(児童)



(3) 日頃から子どもたちに声をかけたり、保護者との連絡をこまめにして、子どもや保護者に寄り添いながら相談しやすくしていますか。(職員)

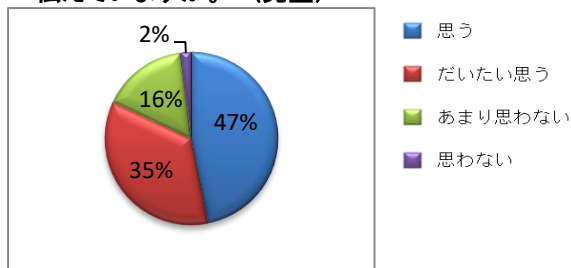


【考察】

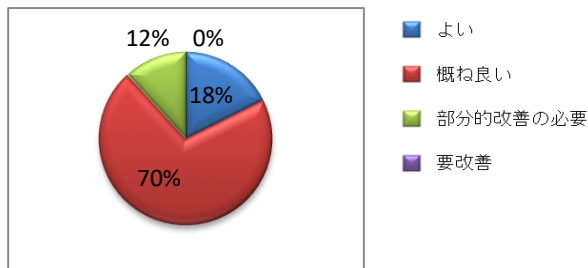
児童の結果は、「思う」が2ポイント上昇した。一昨年度、昨年度と調査を進めるたびに少しずつ増えている。より信頼される学校や職員でありたいと思う。

2 学習

(1) 学習に進んで取り組み、自分の考えを友だちに伝えていますか。(児童)



(1) 子どもたちが学習に意欲的に取り組み自分の考えを持ち、その考えを伝え合う場を設定していますか。(職員)

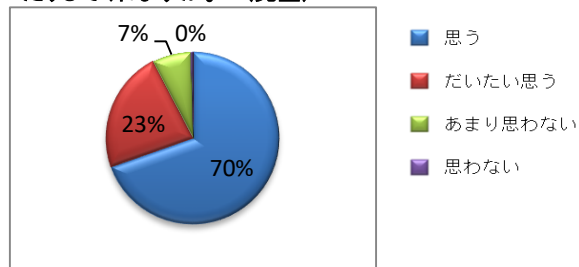


【考察】

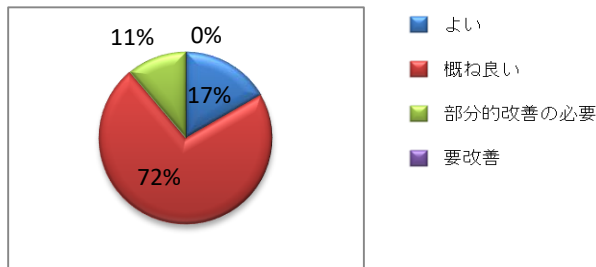
昨年度から大きく増加した「思う」と回答した児童が、さらに6ポイント増加した。「授業がわかる」とこととの相乗効果か。「わかるから楽しい」「楽しいから次への興味がわく」という良いスパイラルを、今後も伸ばしていきたい。

3 自尊心

(1) 先生や友達は、頑張っていることを褒めたり励ましたりしてくれますか。(児童)



(1) 子どもの努力を教師自らが認め、励ますと共に、子どもたち同士がそれぞれの努力を認め、励まし合える環境を作っていますか。(職員)

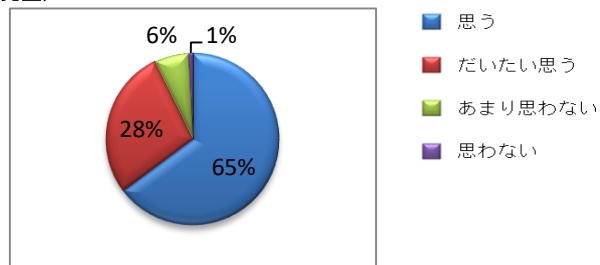


【考察】

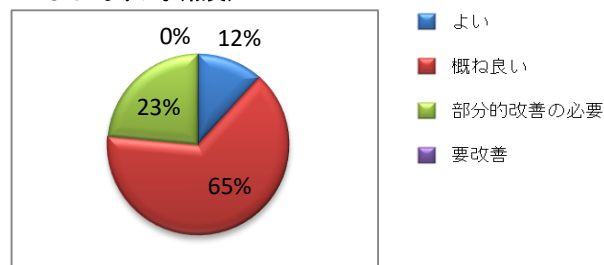
児童の結果は、1学期と比べて「思う」が3ポイント上昇した。多くの子が、自尊心や「認められている」という実感をもって学校生活を送っているようであるが、「あまり思わない」という子も、前回と増減なくいる。

4 心と体

(1) 学習や運動で最後まで諦めずに取り組んでいますか。(児童)



(1) 学習や運動で、最後まであきらめずに取り組めるようにしていますか。(職員)

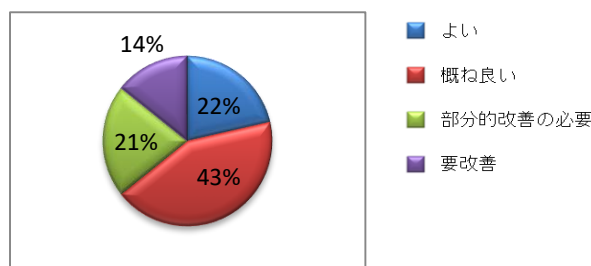


【考察】

前回に比べ、「思う」と回答した児童が5ポイント減少した。設問から、「運動面」に重きを置いて回答したか。一人一台端末が配当されて以降、休み時間をタイピング練習などで過ごす子が増えている。タイピングの技術や、学習での活用能力は著しく高まっているが、体力面や健康面にやや不安を感じる。

5 地域との連携

(1) 地域講師の支援により、ふるさと体験学習を充実させていますか。(職員)



【考察】

コロナ禍により活動も限定され、これまでの活動で、地域の方の支援をいただいた学年職員と、そうでない学年職員の間で、回答が分かれた。一日も早いコロナの収束と、以前のような学社一体となった活動が展開できることを願っている。

【学校満足度に係って】

- ・塩田西スタイルが浸透していることを感じる。主体的で対話的で深い学びを、本校では6年も前から行っている。
- ・コロナ禍で制限された中ではあるが、子どもたちのよりよい成長をめざして工夫しようとしている。
- ・行事に合わせたり、興味・関心に合わせたりして、活動の内容を工夫している。
- ・子どもたちが学校を楽しいと思えるよう、まずは自分自身が楽しもうと意識している。
- ・教室に入れない子や、その子の保護者の願いを大切にしよう心がけている。
- ・教室内の子どもたち一人一人の「居場所」があるかを、常に気にかけるようにしている。
- ・学習が定着しない児童が、学校生活を楽しいと思えるような支援や指導が課題。
- ・「勉強が苦手」という意識を変えていくことが課題。
- ・認める言葉がけをたくさんするようにした。
- ・めあてや、友だち同士の関わり合いを工夫しているが、まとめの時間をどのように有効的に確保するかが課題。
- ・目当てを明確にもって授業に臨み、何をどのように学ばせるかを大切にしている。
- ・めあてとねらいの明確な授業に心がけている。
- ・提出物がなかなかそろわず苦慮している。

【その他】

- ・コロナ禍で、ペア学習やグループ学習を制限せざるを得なかったが、子ども同士が認め合い、学び合えるような状況づくりをさらに工夫したい。
- ・ペアやグループでの協同的な学習を意図的に仕組むようにしている。
- ・問いのある授業を意識してやっている。地域とのつながりが今後の課題。
- ・できたことや成果が目に見える形で残るような工夫をしていきたい。
- ・考えを伝えあう場を多く取り入れることができた。
- ・学習面では「あきらめずに」を意識しているが、運動や給食などの場面では、厳しすぎるかな、と思っしまい、「あきらめずに」が難しい。
- ・今年度はコロナの影響もあり、地域講師の支援を十分に取り入れることができなかった。
- ・子どもたち一人一人が自分の言葉で話せる機会をもつこと、互いの考えをよく聞くようにすることを大切にしている。
- ・教師の言葉だけでなく、子ども同士が素直な言葉で認め合ったり励まし合ったりする場を意識して増やしていきたい。
- ・体力の低下が著しく、運動をしていても疲れやすくなっている子が増えているので、最後まであきらめずに取り組めるような活動の工夫をしていきたい。
- ・子どもたちの「知りたい」「伝えたい」という気持ちを大切にしよう心がけている。
- ・子どもたち同士が認め合ったり励まし合ったりする場を増やしたい。
- ・コロナで遅れていたコカリナの活動を始める予定。